

## 第1分科会

「あなたにとってのESDとは!？」

～環境教育NPO法人くすの木自然館の取り組み～」

NPO法人 くすの木自然館

代表理事 浜本 奈鼓 氏



# あなたにとってのESDとは！？

～環境教育NPO法人 くすの木自然館の取り組み～

優先すべきは地域の利益、  
尊重すべきは地域の個性

環境教育NPO法人くすの木自然館  
代表理事 浜本 奈鼓



鹿児島湾北半部

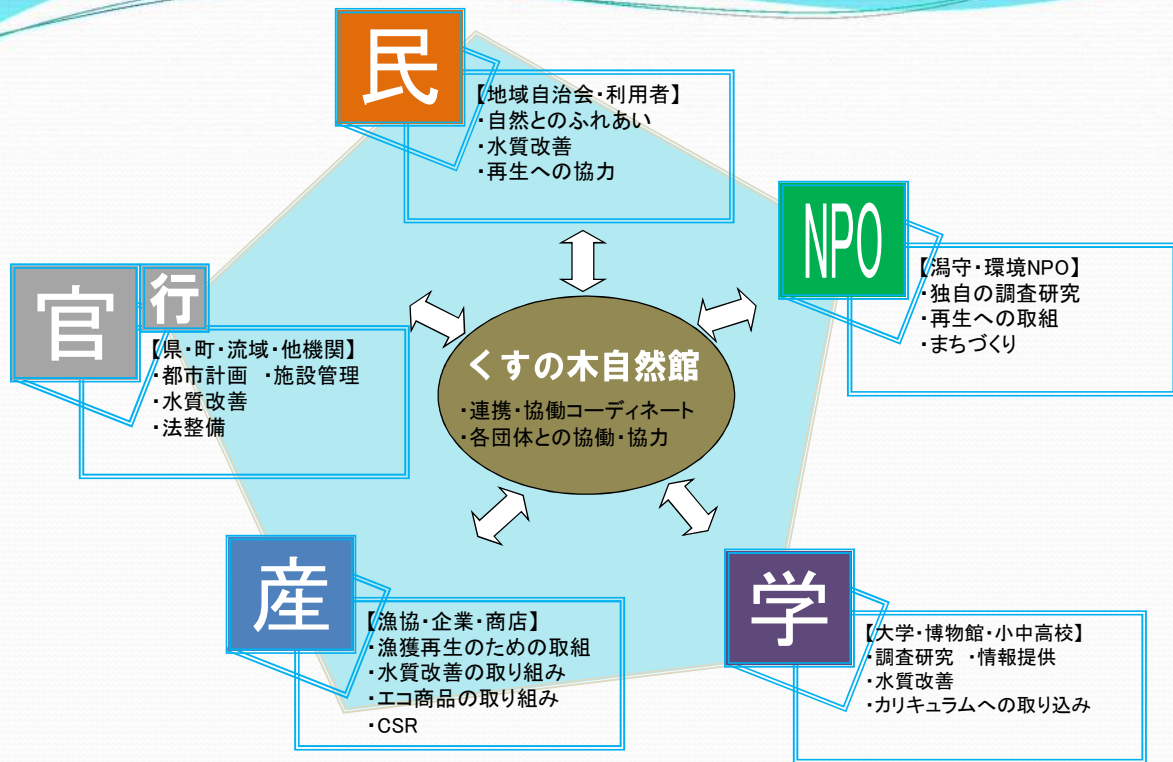
始良市重富海水浴場

始良カルデラ

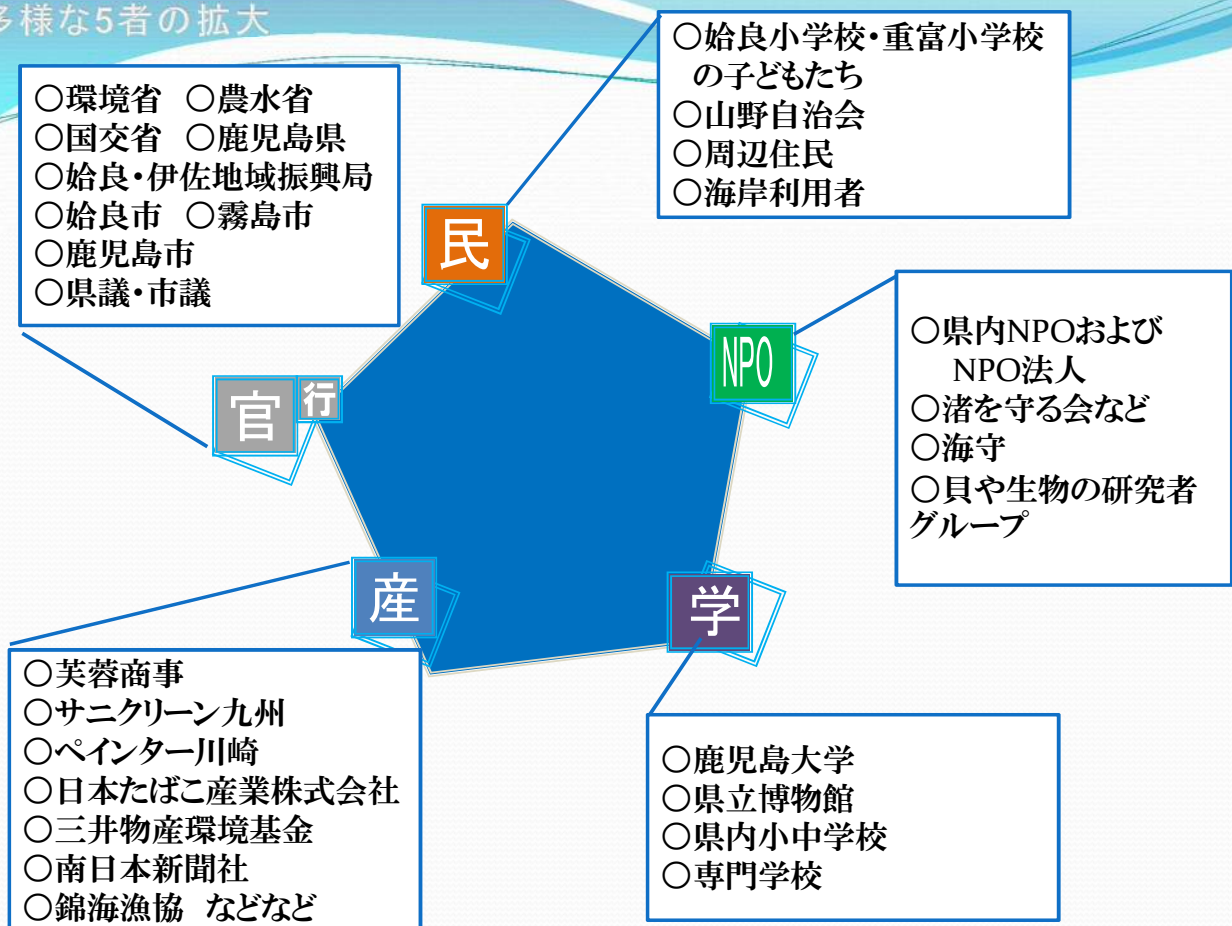




# 重富の海のコンソーシアム



## 多様な5者の拡大



## 問題点の解決！①

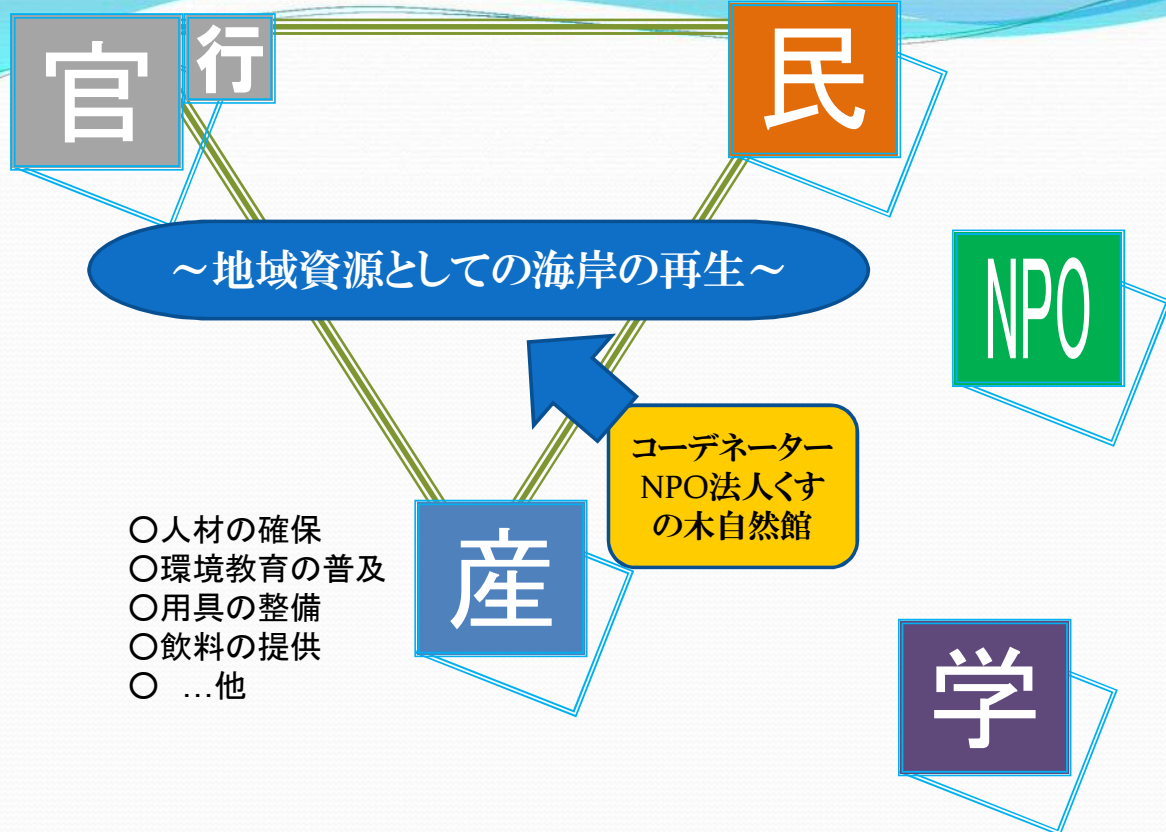
- 問題点:ゴミがあって汚い。だから人が来ない！  
イメージも悪い！
- 当時の人々の反応
  - ・「ゴミ拾いしてもどうせまた汚れるし...」
  - ・「イベントとしてやりたいけど、資金がない...」
  - ・「治安が悪いから近づきたくないし...」

マイナスの反応ばかり...

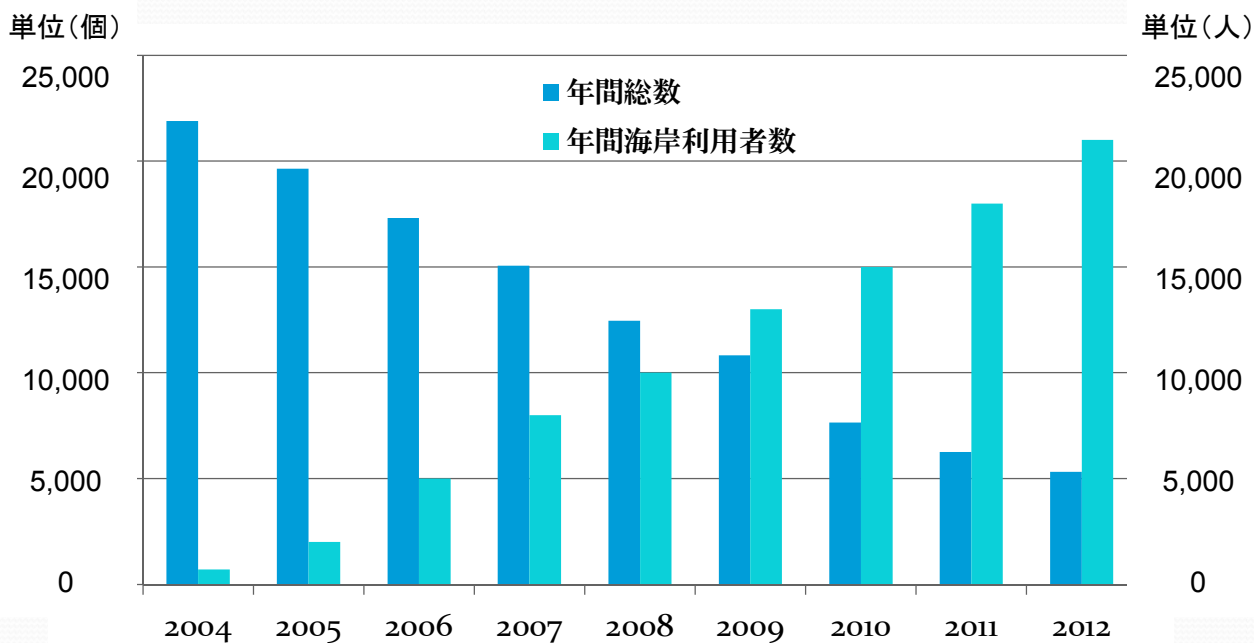
## できることは何だろうか？

- 2004年4月16日:くすの木自然館のスタッフで海岸のゴミをゼロに！ ← 見た目をよくしよう！！
- その日から毎日ゴミを拾って、記録、分析。
- ゴミの種類によって対策をとる！  
例:弁当容器が多い → お昼ご飯が終わるくらいの時間に合わせてゴミ拾い。

連携のコーディネート

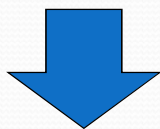


## 2004年からのゴミの総数と海岸利用者数



## ゴミ拾いを続けた結果！！

- 2004年と比べて、1日のゴミの量は3分の1に！！
- 海岸の利用者は10倍以上！！



海岸の利用者のマナー向上！

- 治安がよくなったので、たくさんの方が訪れる！！
- 地元の方は、ますます海岸を誇りに思う！！

**正の連鎖反応が起きている！！**

## 問題点の解決！②

- 問題点：昔はたくさんいた生き物がいなくなった。。。



調査も全然せずに

「汚くなったから、

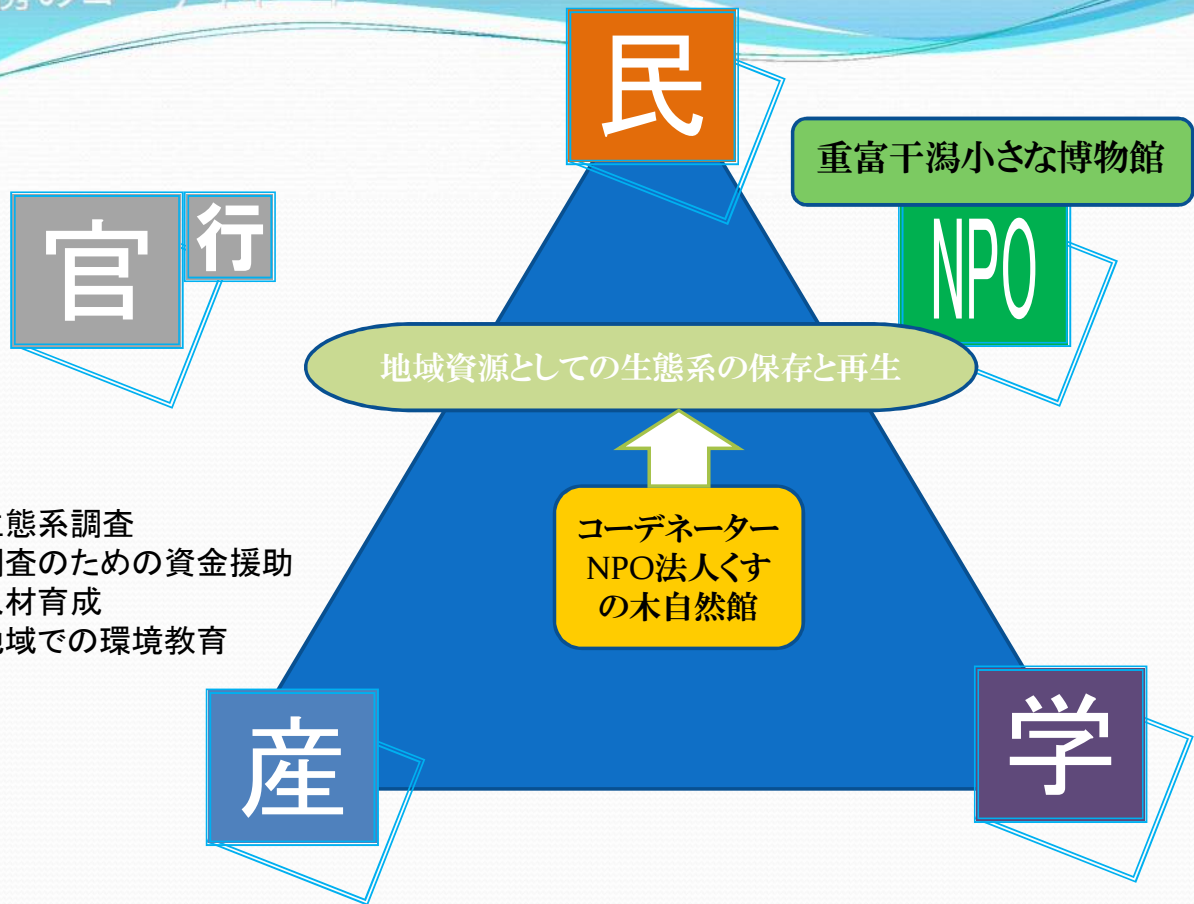
生き物もいなくなった！」

と思い込んでいた。

## できることは何だろうか？

- 鹿児島大学などと協力して、  
様々な環境調査や生物調査の実施  
← 見えない部分の検証！
- 継続的な干潟の底生生物調査
- 干潟の底質調査
- 野鳥の利用調査
- 50年前との水質比較のための堆積物調査 など...





## 調査をした結果！！

- 水質は少しだけ悪化しているが、大きな変化は、干潟の地質が「砂利」から「砂」に変化していること！！



- **汚くなって生き物がいなくなったのではない！！**  
「砂利質が好きな生き物」から「砂質が好きな生き物」に生き物相が変化している途中だったことがわかった！

# 博物館が行なう環境教育

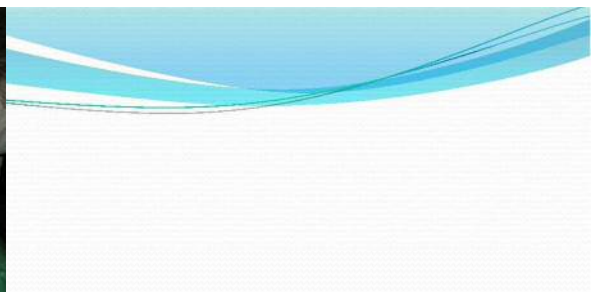
- 綿密な調査を元にしたデータの公開
- 自然への関わり方を知らない、自然の恵みを理解しない行動をとる人々へのアプローチ
- 老若男女全ての人にも対応できるような  
体験型環境教育プログラムの開発・実施

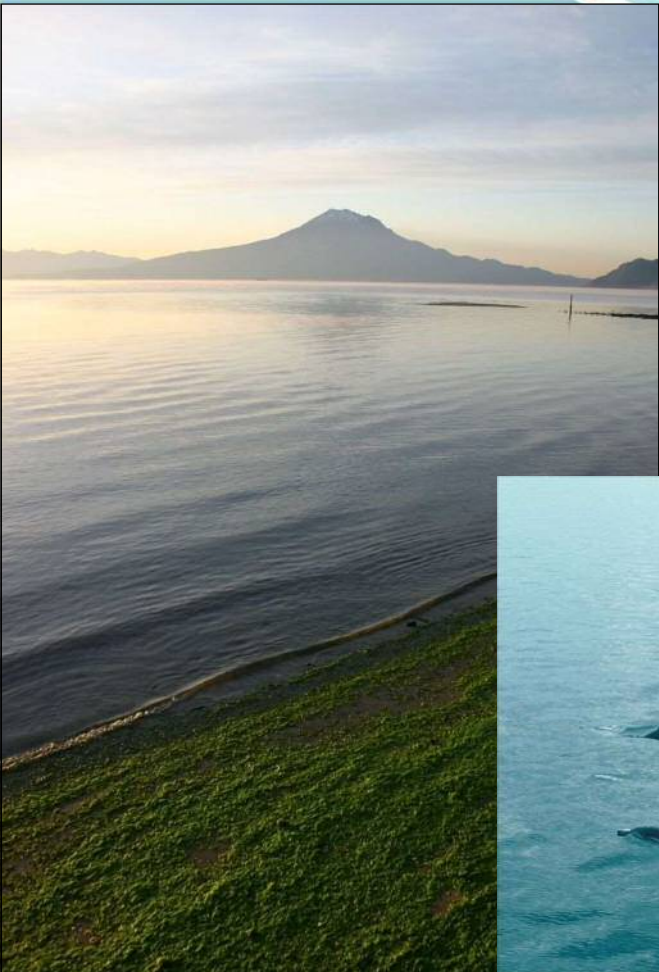
**「干潟だけでなく、  
里地・里山・里海をつなぐ  
考え方の啓発」**

合言葉は...

**優先すべきは  
地域の利益  
尊重すべきは  
地域の個性**









地域のより良い未来を  
地域と共に  
残していきます。